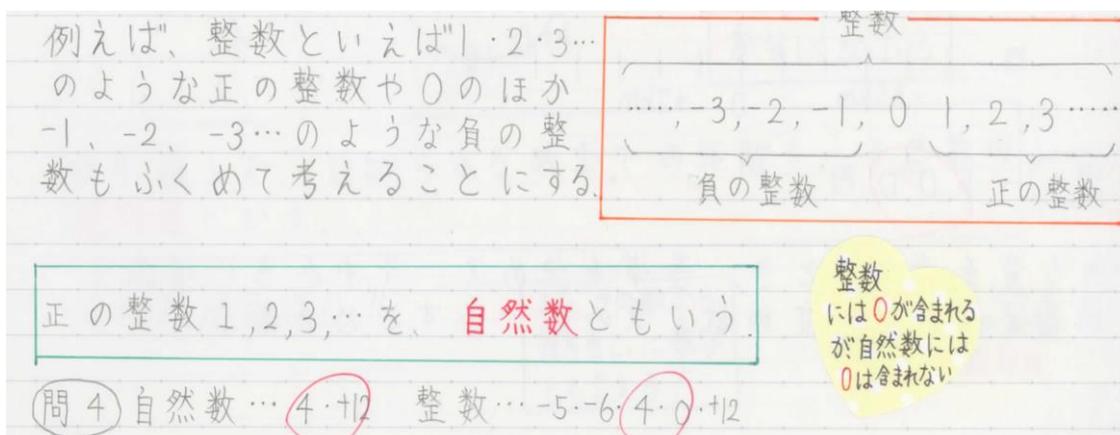


1 はじめに

4・5月の1年生の課題で「正負の数の単元の予習」がありました。すでに提出されたノートの中で、みんなにも共有してもらい、今後の学習に生かしてもらいたいと思った内容を紹介します。

2 よいノートの具体例



① 字がきれい

ていねいな字で書くことで、あとで学習し直すときに見やすく分かりやすくなります。

② 色分けをしている

特に大切なことがらの字の色を変えたり、学習のまとめを色ペン等で囲ったりすることで、見やすくしている。

③ ふせんを使っている

自分で考えたことや、友達や先生が言ったことを付せんや吹き出しを使って書きとめておくことでより深く理解することができる。マスコットを書いて、そのキャラクターが話しているものもありました。記憶(きおく)に残る工夫をしよう。

④ 自分なりにまとめている

書いてあることをただ書いているのではなく、自分なりに工夫をしながらまとめています。これは理解ができていないとなかなか難しいものです。まずは内容理解から。

3 アドバイス

ノートは、その日に学習したことを書き残すためのものです。あとで見直すことを前提(ぜんてい)として作っていくことをおすすめします。私たちは、時間がたてばいろいろなことを忘れていきます。そのため、そのときは覚えていられるようなことでも書き残しておくといよいでしょう。きれいなノートを作るためには、習慣(しゅうかん)が大切です。字のきれいさは個人差がありますが、心がけ一つで変わるものです。自分のための、自分なりのノートづくりを、心を込めて行いましょう。

最後になりますが、学習内容を理解している人のノートは大体きれいです。学習した内容を頭の中で整理整頓しているから、ノートの中身も整理整頓されているということです。きれいなノートづくりをすることが目的ではなく、内容理解を深めるためにきれいなノートを作ることが大切だということを忘れずに学習に取り組みましょう。